

# 平成30年（2018）6月 入域観光客数概況

6月の観光客数は、80万9,700人  
対前年（H29）同月比 +1万900人、+1.4%  
～6月の過去最高更新、各月の過去最高を56ヶ月連続更新～

## 入域状況

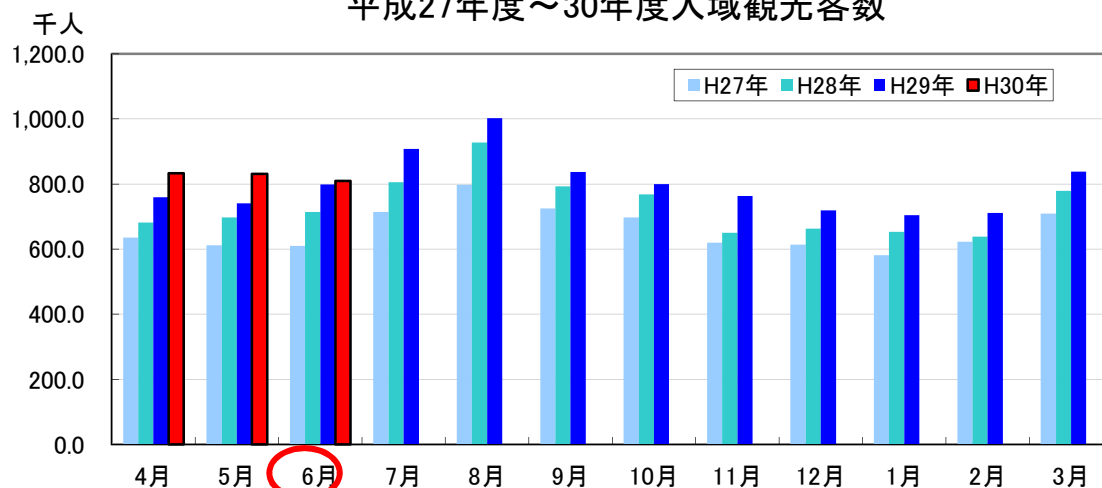
入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	534,600 人	537,300 人	△ 2,700人	△ 0.5%	66.0%
外国客	275,100 人	261,500 人	+ 13,600人	+ 5.2%	34.0%
合計	809,700 人	798,800 人	+ 10,900人	+ 1.4%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	534,600 人	537,300 人	△ 2,700人	△ 0.5%	68.8%
外国客	242,600 人	225,200 人	+ 17,400人	+ 7.7%	31.2%
合計	777,200 人	762,500 人	+ 14,700人	+ 1.9%	100.0%

平成27年度～30年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

6月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好であったものの、大阪府北部地震の影響等から、前年を下回った。

7月は、大阪府北部地震や西日本地区の豪雨の影響による旅行需要の低下や台風の影響が懸念されるものの、前年同月と比べて航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

## 外国客 入域状況

6月は、前年同月に比べて航空路線の拡充があったことや端午節休暇があったこと等から前年を上回った。

7月は、台風の影響が懸念されるものの、本格的な夏休みシーズンによる個人旅行や団体旅行の旅行需要の高まりに加え、航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

## 国内客 地域別入域状況

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	254,400 人	251,600 人	+ 2,800人	+ 1.1%	47.6%
関西方面	114,200 人	118,600 人	△ 4,400人	△ 3.7%	21.4%
福岡方面	69,900 人	69,600 人	+ 300人	+ 0.4%	13.1%
名古屋	45,300 人	45,600 人	△ 300人	△ 0.7%	8.5%
その他	50,800 人	51,900 人	△ 1,100人	△ 2.1%	9.5%
合計	534,600 人	537,300 人	△ 2,700人	△ 0.5%	100.0%

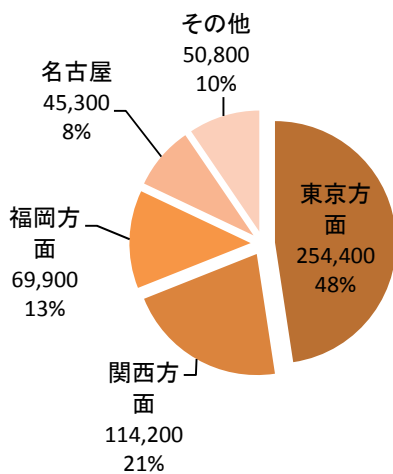
※国内海路客3,400人を含む(鹿児島1,500人、神戸1,900人)

## 外国客 国籍別入域状況

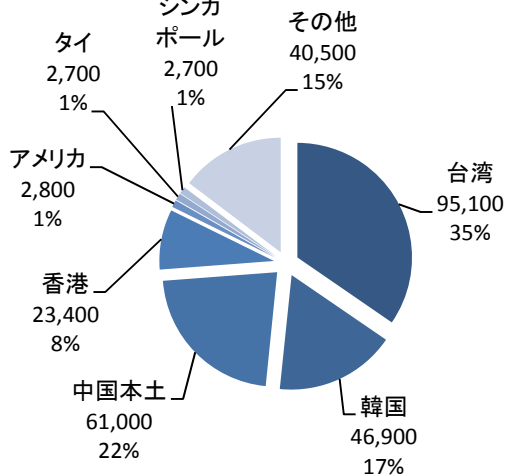
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H30年度	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	95,100 人	95,100 人	94,400 人	+ 700人	+0.7%	34.6%
韓国	46,900 人	46,900 人	42,900 人	+ 4,000人	+9.3%	17.0%
中国本土	61,000 人	61,000 人	42,500 人	+ 18,500人	+43.5%	22.2%
香港	23,400 人	23,400 人	25,600 人	△ 2,200人	△8.6%	8.5%
アメリカ	2,800 人	2,800 人	2,400 人	+ 400人	+16.7%	1.0%
タイ	2,700 人	2,700 人	1,600 人	+ 1,100人	+68.8%	1.0%
シンガポール	2,700 人	2,700 人	2,000 人	+ 700人	+35.0%	1.0%
その他	40,500 人	8,000 人	50,100 人	△ 9,600人	△19.2%	14.7%
合計	275,100 人	242,600 人	261,500 人	+ 13,600人	+5.2%	100.0%

### 国内客の地域構成比



### 外国客の国籍構成比



## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	64,700 人	64,700 人	+15.7%	38.4%	30,400 人	30,400 人	△21.0%	28.5%
韓国	46,800 人	46,800 人	+9.6%	27.8%	100 人	100 人	△50.0%	0.1%
中国本土	24,900 人	24,900 人	+6.4%	14.8%	36,100 人	36,100 人	+89.0%	33.9%
香港	20,500 人	20,500 人	△6.8%	12.2%	2,900 人	2,900 人	△19.4%	2.7%
アメリカ	2,300 人	2,300 人	+4.5%	1.4%	500 人	500 人	+150.0%	0.5%
タイ	2,600 人	2,600 人	+73.3%	1.5%	100 人	100 人	0.0%	0.1%
シンガポール	2,400 人	2,400 人	+60.0%	1.4%	300 人	300 人	△40.0%	0.3%
その他	4,400 人	4,400 人	△6.4%	2.6%	36,100 人	3,600 人	△20.5%	33.9%
合計	168,600 人	168,600 人	+9.6%	100.0%	106,500 人	74,000 人	△1.0%	100.0%

## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

6月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していたことや、旅行会社の夏季シーズンの商品販売強化の取組があったこと等から、前年を上回った。

7月は、台風の影響が懸念されるものの、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していること等から、堅調に推移する見込み。

### 大阪

6月は、航空会社の先行割引航空券等の販売が良好であったものの、大阪府北部地震の影響やクルーズ船の寄港が前年同月に比べ減少したこと等から、前年を下回った。

7月は、大阪府北部地震や西日本地区の豪雨の影響による旅行需要の低下や台風の影響が懸念されるものの、航空会社の先行割引航空券等の販売が良好であること等から、堅調に推移する見込み。

### 福岡

6月は、航空会社の先行割引航空券の販売が安定していたことや、ANA福岡ー宮古直行便の運航が再開されたこと等から、前年を上回った。

7月は、西日本地区の豪雨の影響による旅行需要の低下や台風の影響が懸念されるものの、スターフライヤーの北九州-那覇路線(1日2往復)の再開があることや、航空会社の離島直行便が良好であること等から、堅調に推移する見込み。

### 名古屋

6月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好であったものの、パンフレット系旅行商品の販売が苦戦したこと等から前年を下回った。

7月は、台風の影響が懸念されるものの、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好であること等から、堅調に推移する見込み。

### 台湾

6月は、前年同月と比べ航空路線が拡充したことや端午節休暇があったこと等から前年を上回った。

7月は、台風の影響が懸念されるものの、前年同月より航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

### 韓国

6月は、前年同月と比べ航空路線の拡充があったことや顕忠日や統一地方選挙による休暇があったこと等から、前年を上回った。

7月は、台風の影響が懸念されるものの、近距離旅行の需要の高まりに加え、前年同月より航空路線の拡充が予定されていることから、好調に推移する見込み。

### 中国本土

6月は、夏休み前の旅行商品の販売が良好なことに加え、前年同月に比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

7月は、台風の影響が懸念されるものの、本格的な夏休みシーズンに入り、個人旅行、団体旅行が増える見込みであること等から、堅調に推移する見込み。

### 香港

6月は、大型クルーズ船の寄港があったものの、麻しん(はしか)患者の発生に伴う影響等から前年を下回った。

7月は、台風の影響が懸念されるものの、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。